

商店街活性化事業計画の概要

地 域	京都府京都市	認定日	平成22年2月25日
-----	--------	-----	------------

事業名: 京都の伝統的文化と情報先端技術を活かした魅力ある街づくり事業

事業者名: 四条繁栄会商店街振興組合(京都府京都市)

事業実施期間 平成22年4月～平成25年3月

■ 商店街活性化事業の概要

電線地中化に併せ建築し、完成したアーケードは、防犯カメラや、緊急地震速報システムを導入するなど、安心安全の機能を兼ね備えさせたものとなっている。今回、この多機能型アーケードの改修と無線LANの設置によって、京都市民をはじめ全国からの観光客にも、更なる安心安全、快適空間の提供、知りたい地域情報の発信、そして地域の交流の場に資することを目指し、歴史資産を活かした地域連携イベントの開催、京都らしい個店魅力化の為の研修事業を通じて、商業活性化を図る計画である。

■ 商店街活性化事業の内容

地域住民及び利用者のニーズ

- ・祇園祭等地域資源を活かしたイベント等の開催や、商店街のイベント、店舗の営業案内と共に、地元の歴史、文化の情報発信。
- ・安全で安心な歩道と、ゆったりできるカフェ等のある空間、そして京都らしい装飾をしたアーケード街

実施計画の主な内容

- ・アーケードの統一看板照明のLED照明化による省エネ化
- ・無線LANを活用した地域情報発信システムの構築
- ・京都の伝統文化と先端情報技術を活かした魅力ある街づくりを目指し、活性化委員会を立ち上げ、地域住民との連携による各種イベントの実施
- ・優秀店員育成事業の実施
- ・魅力的な空間創出のためのコンセンサス形成事業

■ 商店街活性化事業計画の目標

減少傾向にある売上金額及び来街者数に歯止めを掛ける。

- ・来街者数 平成21年 36,168千人→平成24年 37,264人(計画期間中毎年1%増)
- ・売上金額についても、同様に計画期間中毎年1%の増加を目指す。

【祇園祭提灯回廊イベントのイメージ】



【無線LANを活用した販促イベントのイメージ】

